



いずみの園公式

Instagram



<https://www.instagram.com/izuminosono/>

いずみの園公式

Facebook



<https://www.facebook.com/izuminosono/>

ホームページ



<http://www.izuminosono.jp/>

法人名 社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団
代表者名 理事長 富永健司
設立年月日 1971年9月6日
所在地 〒871-0162 大分県中津市永添2744番地
電話番号 0979-23-1616
F A X 0979-23-1783
メー ル sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

1. 企業紹介、PR

福祉を必要としている方々への支援を行う仕事です。高齢者事業がメインですが、その他にも障がいのある方の支援を行う事業、子どもやその家族に対する事業など多岐にわたる職場があり、幅広い業務があります。将来は専門性を深めたり、施設運営を担ったり、一人ひとりの志向や特性を活かしたキャリアステップが広がっています。

2. 経営トップの考え方

当法人は1968年(昭和43年)大分市において「めぐみ保育園」を開設し、つづいて中津市に「グレース保育園」、福岡県みやこ町に「犀川のぞみ保育園」を開設しました。1978年(昭和53年)、時代の要請をうけ中津市に「特別養護老人ホームいずみの園」を設立、以来、施設サービス、在宅サービスなど高齢者事業を積極的に展開しました。2013年には懸案であった障がい者支援事業にも着手し、福祉の3本柱、児童・高齢者・障がい福祉の体制が整いました。

「キリスト教の愛と奉仕の精神」を基本理念とし、職員は信・望・愛の心をモットーとしてケアに精励しています。いずみの園は「アメニティ(快適サービス)」「ヒューマニティ(人権尊重)」「ローカリティ(地域密着)」をサービスのコンセプトとしています。

国は2025年を目標に、住み慣れた地域で最期まで暮らすことができる「地域包括ケアシステム」の構築を目指しています。いずみの園は地域包括ケアシステムを先駆的に推進する中で、社会福祉法人としての「公益性」「先駆性」「独自性」を堅持し、地域福祉の拠点としての役割をしっかりと果たして参ります。

3. 企業の強みと今後の展開(今後の目標、目標に向けた取組、業界や市場の状況など)

変化していく時代の中で、変わることの無い私たちの魅力

いずみの園は1978年に50床の特別養護老人ホームからその歴史がスタートしました。開設当時は「少子高齢化」が問題意識として認識され始めた頃でしたが、その頃の想定の数倍ものスピードで日本の少子高齢化は進行していきました。また、2000年の介護保険制度の施行に伴い、数多くの民間企業が参入し、福祉の業界も一般企業と同様の経営を求められました。時代の変化と共に福祉のニーズも多様化・変化していきましたが、その変化に適合し、時代と共に自分たち自身が変わっていくことで、いずみの園は今日も地域にあり続けることができていると考えています。いずみの園という事業体は、常に変化をしている事業体であり、時代の潮流や求めに合わせて自分たち自身が変わることが出来ること、これはいずみの園の魅力の一つであると言えます。

そして、変わらないものは「キリスト教の愛と奉仕の精神」であり、それはいずみの園開設から現在に至るまで変わることなく、私たちのケアの根源に流れるものです。開設から40余年がたった今、改めて創立の念に思いを馳せると共に、いつまでも変わることのない「愛」をもった温かいケアでご利用者に奉仕することをモットーとし、職員一同日々の業務に勤めております。

4. 社風について

【若手職員さんへインタビュー内容を紹介します！】

- ・アットホームな雰囲気先輩職員は優しく何度も丁寧に教えてくれます。
- ・職員が明るく協力的なところです。
- ・困ったときや、分からないときも相談しやすく尋ねやすい雰囲気です。

5. 求めている人材について

- ・積極的な人…受け身ではなく主体的に行動できる方
- ・話し好き…コミュニケーション能力がある方
- ・裏表のない人…実直にご利用者様と仲間を大切にできる方
- ・頑張り屋…前向きで粘り強く取り組むことができる方
- ・有資格者…持っている嬉しい資格(介護福祉士、社会福祉士、看護師、ケアマネ等)

6. 就職活動を迎える学生へ / アドバイス

いずみの園では、介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級講座)を園内で実施しており、資格を持たない方でも働きながら資格取得できます。また、国家資格である「介護福祉士」の資格取得に必要な「介護実務者研修」も園内で実施しています。「ケアマネジャー」「社会福祉士」といった資格についても、働きながら取得した職員も多数おり、キャリアアップのための充実したバックアップ体制をとっています。

7. 学生の主な質問について

【若手職員さんへインタビュー内容を紹介します！】

○いずみの園を選んだ決めて

- ・施設見学で職員の皆さんがご利用者に接し方が良く、ノーリフティングケアを推進しており、職員にも配慮されていると感じたからです。
- ・高齢者の分野だけではなく、児童・障がい福祉の分野まであり、幅広く視野が広がると思ったからです。

8. 参考になるリンク

○いずみの園ホームページ

<http://www.izuminosono.jp/>

○いずみの園 Facebook

<https://www.facebook.com/izuminosono>

○いずみの園インスタグラム

<https://www.instagram.com/izuminosono/>

<OB/OG 情報> (情報は人事経由で卒業生との連絡手段に)

・直近年新卒採用者在籍情報

2021年 7名

2022年 3名

2023年 6名

実際に働く人の声

介護員(2021年入職)

私は福祉とは縁の遠い学部の学科を卒業し、当園に就職しました。そのため、初めは耳馴染みのない単語が出てきたりと戸惑いも多くありましたが、メモを取ったり、分からない所は先輩方に質問するなど、自分の無知をできるだけカバーできるように日々励んでいます。

介護の知識は後々誰しもうる必要になってくるため、それを若いうちから実践できるようになるのは、とても大事なことだと思います。仕事していくうちに出会いと別れを経験しますが、ご利用者の人生の片隅にでも自分の存在が残ると良いなと思いながら、寄り添っていきたいです。

介護員(2022年入職)

私が介護の仕事に興味を持ったきっかけは親戚が介護サービスを利用していたことです。無口で不愛想だったその方が施設の中で表情良く職員とコミュニケーションを取っている姿。この人ってこんな表情で話す人だったのかという驚き、それを引き出している職員の方々の凄さを目にしたことです。実際にデイサービスで働きましたが、資格を取って本格的に働こうと思い専門学校を卒業しました。

いずみの園を選んだ理由は先生方から紹介いただき、実際に働いてみていずみの園で良かったと思っています。今後の目標は日々ご利用者と接する中で、その方の想いに少しずつでも寄り添っていき、ご利用者目線のケアが実践できるよう頑張りたいと思います。

介護員(2023年入職)

私が介護に興味を持ったきっかけは小さいころ祖父が障がい者になり、見様見まねで車いすの移乗などをしていました。その中、曾祖母が地元の施設に入ることになり、何もできない自分が悔しく、何かしてあげられることはないかと思い介護の道に進むことを決めました。現在は先輩職員方に色々な技術を教わり、メモを取ったりして自分の物にできるように頑張っています。

仕事をしっかり覚え、ご利用者に寄り添える介護ができるようになりたいです。技術等で高みを目指せるように、一つひとつを大切にしていきたいです。丁寧な介助を目指しています

<先輩からの推薦>

・推薦の理由 (以下より、アピールできる項目の選択と、その詳細)

理由	詳細
<input checked="" type="checkbox"/> 成長が見込める	介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級講座)を園内で実施しており、資格を持たない方でも働きながら資格取得できます。また、国家資格である「介護福祉士」の資格取得に必要な「介護実務者研修」も園内で実施しています。「ケアマネジャー」「社会福祉士」といった資格についても、働きながら取得した職員も多数おり、充実したバックアップ体制をとっています。
<input type="checkbox"/> 安定している	
<input type="checkbox"/> 専門性が高い	
<input type="checkbox"/> 個人が尊重される	
<input type="checkbox"/> 挑戦できる	
<input type="checkbox"/> 組織風土が良い	
<input checked="" type="checkbox"/> 自由にできる	ワーク・ライフ・バランスを良くする取り組みを積極的に行っています。有給取得の励行に職員旅行への補助、クラブ活動に関する取り組みなど「働きやすい環境づくり」に努めています。また、いずみの園の敷地内には、職員が利用できる事業所内保育施設もあり、小さなお子さんのいる職員が安心して働けるよう託児施設を設けています。